

家庭学習のすすめ

校長 立野 文雄

子供たちが未来に向けたくましく成長していくためには、知・徳・体のバランスが欠かせません。特に、学力は豊かな自己実現のための糧となります。小学校で学習する内容は子供たちが将来生きていくために必要な最低限度の力です。今、学んでいることが分からないまま、上の学年や中学校に進むことがないよう、本校では、基礎的・基本的な学習内容を一人一人の子供たちに、確実に身に付けさせたいと考えています。

学校の学習に加えて、学校で学んだことを何度もくり返す場、学びを補う場があることで、学習内容の習熟・定着につながると考えます。それには、家庭学習が一番適していると考えます。そこで、保護者の皆様に「家庭学習」に関してお願いがあります。

●家庭で勉強する時間を、お子様と話し合って決めてください。毎日、机に向かう習慣を付けることが大切です。

- ・低学年では、宿題のやり方についてもしっかり教えていくことが大切です。
- ・高学年では、自分で計画を立てさせ、主体的に取り組ませることが大切です。
- ・難しい問題でも投げ出さずに、根気よくじっくりと考えさせることが大切です。
- ・問題が解けないことがあっても、お子様の能力に理由を求めず、一緒に考えたり勉強の仕方を見直したりしながら、励ましたりアドバイスしたりしてください。

●認めること、ほめることを大切にしてください。

- ・お子様がやり切ったことや頑張ったことを認めて、ほめたり励ましたりしてください。そのことが、子供の自信につながり、やる気を起こさせます。

●家族で会話や読書をする時間をつくってください。

●規則正しい生活習慣は、学習を支える「土台」となることを教えてください。

- ・テレビを見る時間やゲームをする時間をお子様と話し合って決め、睡眠時間を十分にとることができるようにしてください。また、SNSを使用する場合は、各家庭のルールを確実に守らせるようにしてください。
- ・家族の一員であるという自覚をもたせ、手伝いなど家族での役割をしっかりと果たすことができるようになると自立につながります。

家庭学習をすればいいことがあるの？

- ★ 授業の復習・予習をすることにより、学習に対する自信が増し、意欲が高まります。
- ★ 漢字や計算などは、繰り返しの練習によって確実に習熟・定着していきます。
- ★ 読み・書き・計算によって脳が活性化します。
- ★ 家庭学習の習慣ができると、自ら学ぶ子供になります。
- ★ がまん強さ、根気、集中力が育ちます。
- ★ 家族のふれあいが増し、コミュニケーション能力が高まります。

学校の授業とつながった家庭学習は、子供の自信と意欲を育てていきます。

家族とふれあい、家族と信頼し合う中で、子供は心身ともに健康に育ち、学力も伸びていくと考えます。

家庭学習はどのくらいすればいいの？

<学習時間のめやす>

家庭学習は継続することが大切です。子供によって机に向かい集中して学習できる時間には個人差がありますが、1日に学年×10分～15分がめやすです。（「確実に学力をつける家庭学習法」「向山式家庭学習法」「本当の学力をつける本」などの記述より）

○低学年は15分～20分

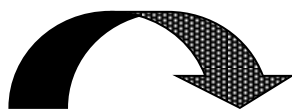
○中学年は30分～40分

○高学年は50分～60分

毎年6年生が対象となっている全国学力・学習状況調査の結果からは、「家で勉強するときに、自分で計画を立てて勉強している」「テストで間違ったところを勉強している」という子供の正答率が高くなっています。
内容や方法が大切なのだと思います。

これは、あくまでもめやすです。子供の意欲やその日の調子によって、時間は変わります。子供たちのやる気、自主的な取組みを温かく受け止め、ほめたり認めたり励ましたりしてあげてください。

今日は漢字をていねいに
たくさん頑張ったな。



よい循環



うれしいな。
明日も頑張ろう。

